

# 石見海域漁場環境保全調査

(漁場保全対策推進調査事業)

小村治男・井岡 久・石原成嗣

## 1. 研究目的

沿岸域、特に河川水の影響を大きく受ける、本県西部の益田市と江津市沿岸域について、その現状を把握し、汚染の進行を防止するため定期的に調査を実施して資料の蓄積を図る。

## 2. 研究方法

調査地点は益田市沿岸 15 点、江津市沿岸 15 点で、調査項目は水温、透明度、濁度、浮遊物質 (SS)、pH、溶存酸素 (DO)、COD、栄養塩類 ( $\text{PO}_4\text{-P}$ 、 $\text{SiO}_2\text{-Si}$ 、 $\text{NH}_4\text{-N}$ 、 $\text{NO}_2\text{-N}+\text{NO}_3\text{-N}$ ) である。試験船により水深 1 m、5 m、10m および底層から採水した試料を分析した。調査日時は益田市沿岸が平成 10 年 7 月 22 日 (上潮時)、江津市沿岸が平成 10 年 7 月 21 日 (上潮時) であった。なお、調査海域は添付資料に示した。

## 3. 研究結果

各調査定点の水質分析結果は添付資料にまとめて示した。両沿岸域ともその水質に大きな変化は認められず、いずれの水域もほぼ平均値を示した。